

この歌でみんな仲良く輪になろう!

やまぶきの里コンサート

福岡蔵本にある老人ホーム「ケアハウスやまぶき」で4月23日、ピアノと歌の「やまぶきの里コンサート」が開催されました。平成16年に、大阪から同施設に入居した小野清子さんの娘さんで、ピアニストの岡崎悦子さんが、白石で元気になった母親からの感動と感謝の言葉を歌にして同施設に贈りました。この歌を入居者の皆さんの前でぜひ歌いたいと、親友である声楽家の大島優美子さんとともにコンサートを開催したものです。透き通ったピアノの音と天使のように優しい歌声が、集まった1人ひとりの心を和ませてくれました。



▲入居者の心を和ませた優しい歌声とピアノの演奏

元気に100歳を迎えました

半澤留七さんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈



▲風間市長やご家族と一緒に100歳を祝いました。

5月5日に満100歳を迎えた半澤留七さんを風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈りご長寿を祝福しました。半澤さんは戦前、お菓子の製造・販売を行っていましたが、戦争が激しくなったため店をたたみ、戦後は農業に従事してきました。食べ物の好き嫌いもなく、お酒が好きで毎日晩酌していたとのこと。

現在は、福岡蔵本地区にある老人ホーム「えんじゅ」で穏やかに過ごしの留七さん。この日はご家族が大勢集まり、ご長寿を祝福しました。市内の男性では、半澤さんは2番目のご長寿になります。

きれいな花をたくさん咲かせましょう!

教室開講10周年記念パンフラワー作品展



▲来館者を出迎える素晴らしい合同作品

4月24日～26日の3日間、壽丸屋敷でパンフラワー作品展が開催されました。パンフラワーとは、パン粘土で作った花のことで、もともとはメキシコの女性たちが、食べ残しのパンを使って人形などを作ったことに由来しています。今回の作品展は、本市の旭町で月1回の教室を開いている山本紀子さんと生徒さんが、教室の開講10周年を記念して開催したものです。展示された15人、52点の作品は、とても粘土から作られたとは思えない美しさです。入り口には、出品した15人が合同で制作した作品が、訪れる皆さんを温かく出迎えていました。

白石中学校が惜しくも3位!

第9回中学生サッカー交流大会

4月26日・29日、5月2日の3日間にわたり、白石川サッカー公園で第9回中学生サッカー交流大会が開催され、県南から参加した12校が優勝を目指して熱い戦いを繰り広げました。この大会は、交流を通して各校のレベルアップを図ろうと、白石サッカー協会が主催しています。26日の予選初日は大雨と強風の中で行われ、白石中学校が見事予選突破。2日の決勝トーナメントでは、亘理中学校に1対2と惜しくも準決勝で敗退したものの、3位決定戦で角田中学校に2対0と勝利し、3位に入賞しました。



▲ゴールへ迫る白いユニフォームの白石中学校イレブン

今年の春も、しろいしは大にぎわい! 大行列や火縄銃演武に大興奮!

白石市民春まつり

5月3日、白石の春の風物詩「白石市民春まつり」が開催されました。今年も初夏と思わせるような暑い日となり、約36,000人の人出でにぎわいました。

恒例の「しろいし大行列」では、神明社の御輿渡御を先頭に、稚児行列や太鼓山車などが続き、24団体から約1,100人の皆さんが参加しました。

また、白石城では、今年で10回目となる「片倉鉄砲隊火縄銃演武」が行われました。鉄砲隊の火縄銃から放たれる「ズドン!」という大きな音に、詰め掛けた観客からは大きな歓声が上がっていました。



▲きれいに飾った山車などを見に多くの方が訪れました。



- ①白石城での片倉鉄砲隊の火縄銃演武
- ②すまいるコンサートには仙台・福島からも参加
- ③足軽選手権では参加者の珍プレーに大笑いが!

この日は、各会場でさまざまなイベントが開催されました。すまいるひろばでは、恒例のすまいるコンサートや階子乗りが開催されたほか、市内各所を巡りながら問題に答える「片倉公検定ラリー」では、参加者が難問に頭を悩ませていました。また、中町・長町商店街前では、「第1回全日本アスリート足軽選手権大会」を開催。戦国時代の足軽のスタイルで行うこの障害物競走では、珍プレーが続出し観客の笑いを誘っていました。

また、ホワイトキューブでは全日本こけしコンクールも開催され、今年の春まつりも、至る所で暑く、そして熱い春の祭典となりました(26ページに関連記事)。

親子で楽しく! 笑顔がいっぱい!

第33回こどもまつり



▲こどもまつりを楽しむ家族連れ

5月10日、中央公民館を会場に恒例の「こどもまつり」が開催されました。

こどもまつりは、母親クラブや子ども会育成会連合会、民生児童委員、児童館やジュニアリーダーなど多くの団体・機関でつくる実行委員会が主催。家族のふれあいの場づくりと、子ども同士で遊ぶ楽しさを伝えようと開催しています。この日は、500人を超える皆さんが会場を訪れ、ペットボトルボウリングやおし花しおり作りなどたくさんのコーナーが設けられた会場は、親子の楽しむ笑い声につつまれていました。

迅速な行動が被害を最小限に食い止めました

白石消防署長から消火活動協力者を表彰

4月30日、白石消防署で消火活動に協力した功績をたたえ、白石消防署長から表彰状が贈られました。

表彰されたのは、市内在住の佐藤正一さん。佐藤さんは4月12日午後、近所の裏山から煙が出ているのを発見。すぐ火災と判断し、家族や地元消防団員とともに、消火器や水道ホースで消火活動に当たりました。

連日乾燥する日が続き、角田市でも大規模な林野火災が発生している中、佐藤さんの早期発見と迅速な行動が被害を最小限にとどめ、けが人も出さずに済みました。消火に協力した皆さま、本当にありがとうございました。



▲八島白石消防署長から佐藤さんに表彰状が贈られました。